

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard

Ver14.0 から Ver15.0 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver15.0 6 Ver15.0 (H16.4.8)

(追加・改良)

- (1) 個別管理リソースガントチャートウィンドウの編集メニューへ「ジョブ削除...」コマンドを追加
選択したジョブを削除します。
- (2) 同時生産の最適化
同時生産工程への実績入力された場合、まとめ処理の最適化を実施しました。
- (3) オーダリスト、シリーズリストのバリデーション強化
- (4) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(月)」を追加
オーダー最早開始日の年月を比較します。
- (5) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(旬2)」を追加
オーダー最早開始日の年月旬2(前半、後半)を比較します。
- (6) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(旬1)」を追加
オーダー最早開始日の年月旬1(上旬、中旬、下旬)を比較します。
- (7) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(週)」を追加
オーダー最早開始日の年月週を比較します。
- (8) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(1/2週)」を追加
オーダー最早開始日の年月週(1/2週単位)を比較します。
日曜～水曜(前半)、木曜～土曜(後半)
- (9) スケジューリング画面の優先順位項目へ「オーダー最早開始日(日)」を追加
オーダー最早開始日の年月を比較します。
- (10) 初期設定の「その他6」タブへ以下を追加
「実績が着手のロットは、実績終了日を再計算する」
現状は、「No」に設定している状態です。
「Yes」に設定すると、スケジューリング時、実績が着手のロットは、
計画数量 - 実績数量(完了済み数量)の差分を生産するために必要な時間を算出し、
ロットの実績取得日からの推定完了時刻を計算し、実績終了日に設定します。
尚、「No」の状態から、「Yes」に変更すると、実績が着手のロットでは、
実績終了日が実績取得日へコピーされます。
- (11) ロットリストの実績取得フィールドを編集可能フィールドに変更した。

Ver15.0 5 Ver15.0 6 (H16.4.5)

(追加・改良)

- (1) 製品・半製品間のクリティカルの高速化
- (2) ロット作成の超高速化
原材料情報が非常に多い場合等では、非常に高速になります。

- (3) データ連動の超高速化
原材料情報が非常に多い場合等では、非常に高速になります。
- (4) オーダー作成の高速化

Ver15.0 4 Ver15.0 5 (H16.3.30)

(追加・改良)

- (1) 「個別管理リソース割当ジョブリストの作成」コマンド実行後、個別管理リソース割当ジョブリストを表示させるようにした。
- (2) 個別管理リソースガントチャートの編集メニューへ「ガントチャートジャンプ」を追加
選択したジョブと関連するロットまたはシリーズのガントチャートへジャンプします。
- (3) 設備マスターへ「稼働率計算パターン」フィールド(リンク型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。
ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。
ヒント:このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働時間があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。
- (4) ワークセンタマスターへ「稼働率計算パターン」フィールド(リンク型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。
ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。
ヒント:このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。
- (5) ワークセンタマスターへ「稼働率計算人数」フィールド(小数型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。
ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。
ヒント:このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。
- (6) ワークセンタグループマスターへ「稼働率計算パターン」フィールド(リンク型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。
ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。
ヒント:このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。
- (7) リソースマスターへ「稼働率計算パターン」フィールド(リンク型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。
ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。
ヒント:このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。
- (8) リソースマスターへ「稼働率計算数量」フィールド(小数型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。

ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。

ヒント：このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。

- (9) 個別管理リソースマスターへ「稼働率計算パターン」フィールド(リンク型)を追加
「備考1」フィールドの前に挿入しました。

ここで指定したパターンを稼働率の分母計算に使用します。

ヒント：このフィールドに「標準」のパターンを選択し、実際のカレンダーの稼働が、「残業」で、且つ、その日が「標準」以上の稼働があった場合は、100%を超える稼働率として表示されます。

- (10) 「スケジューリング - 個別管理リソース再配置...」コマンドを追加
現在選択のシミュレーションの個別管理リソースの再配置を行います。

Ver15.0 3 Ver15.0 4 (H16.3.24)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他 - テーブル - 中間体マスターのソート...」コマンドの追加
中間体マスターを製品マスター・生産パターン順にソートします。

- (2) マクロコマンド「REVERSE_DEVELOP_CREATE」を追加

書式：REVERSE_DEVELOP_CREATE

「生産計画 - 逆展開 - 逆展開リスト作成...」コマンドを実行します。

- (3) マクロコマンド「REVERSE_DEVELOP_OPEN」を追加

書式：REVERSE_DEVELOP_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>

引数1：ウィンドウX座標、引数2：ウィンドウY座標、引数3：幅、引数4：高さ

「生産計画 - 逆展開 - 逆展開リスト編集」コマンドを実行します。

- (4) マクロコマンド「M_AREA_OPEN」を追加

書式：M_AREA_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>

引数1：ウィンドウX座標、引数2：ウィンドウY座標、引数3：幅、引数4：高さ

「マスター - 地域・ガントチャート表示設定マスター編集」コマンドを

実行します。

- (5) マクロコマンド「SORT_MIDDLE_MASTER」を追加

書式：SORT_MIDDLE_MASTER

「ユーティリティ - その他 - テーブル - 中間体マスターのソート...」コマンドを

実行します。

- (6) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加

・GetReverseDevelopTable *INo*

INo{0(M) , 1(S1) , 2(S2) , 3(S3)}で指定した逆展開リストを取得します。

PlanWizard.tlb ファイルを添付します。

- (7) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加

・GetAreaTable

地域・ガントチャート表示設定マスターを取得します。

PlanWizard.tlb ファイルを添付します。

Ver15.0 2 Ver15.0 3 (H16.3.18)

(追加・改良)

- (1) 「マスター - 地域・ガントチャート表示設定マスター編集」コマンドを追加
後日、詳細資料をお送り致します。しばらく、使用しないで下さい。
- (2) 設備マスターへ「地域」フィールド(リンク型)を追加
稼動パターンフィールドの前に挿入しました。
後日、詳細資料をお送り致します。しばらく、使用しないで下さい。
- (3) 設備マスターへ「ガントチャート」フィールド(リンク型)を追加
稼動率計算パターンフィールドの前に挿入しました。
後日、詳細資料をお送り致します。しばらく、使用しないで下さい。

Ver15.0 1 Ver15.0 2 (H16.3.12)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「Excel_Text_Open」を追加
書式: Excel_Text_Open 引数(テキストファイル名)
引数で指定したテキストファイルを Excel で開きます。
引数で複数のファイルを指定する場合は、ファイル名とファイル名を「!」で区切り、スペースを入れないで下さい。例えば、「A.txt」と「B.txt」の2つを指定する場合は、引数に「A.txt!B.txt」と指定して下さい。
ただし、実行には、<PlanWizard インストールフォルダ>の中の Excel フォルダに「_TextOpen.xls」ファイル(後日、送付します。)が必要です。
送付されるまでは使用しないで下さい。
ヒント: 外部インターフェースカスタマイズ等で作成したテキストファイル群を一連のマクロで即座に Excel で開くことができます。
- (2) マクロコマンド等の引数が日時の場合、現状の時間プラス処理の他、時間マイナス処理も可能になった。
日時に続けて「- TimeSpan (iDay,iHour,iMniute,iSec)」の書式で行います。
詳細な書式は、時間プラス処理(Ver14.605)を参考にして下さい。
- (3) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
%AN ロットの引当て先のオーダー名称 or 受注名称を表示します。
%AQ ロットの引当て先のオーダー名称 or 受注名称と引当て数量を表示します。
%AD ロットの引当て先のオーダー名称 or 受注名称と引当て数量と使用する時刻を「月日」表示します。
%AT ロットの引当て先のオーダー名称 or 受注名称と引当て数量と使用する時刻を「月日時分」表示します。
- (4) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
%XPEN ロットの前工程の設備名称を表示します。
%XPEC ロットの前工程の設備コードを表示します。
%XPEG ロットの前工程の設備表示グループを表示します。
%XPEM? ロットの前工程の設備備考 1~5 を表示します。
%XNEN ロットの後工程の設備名称を表示します。
%XNEC ロットの後工程の設備コードを表示します。

- %XNEG ロットの後工程の設備表示グループを表示します。
- %XNEM? ロットの後工程の設備備考 1~5 を表示します。
- (5) ガントチャート特殊文字へ以下を追加
 - %XPPS ロットの前工程の生産開始時刻を「月日時分」表示します。
 - %XPPF ロットの前工程の生産終了時刻を「月日時分」表示します。
 - %XNPS ロットの後工程の生産開始時刻を「月日時分」表示します。
 - %XNPF ロットの後工程の生産終了時刻を「月日時分」表示します。

Ver15.0 Ver15.0 1 (H16.3.8)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - 展開リスト」ポップアップメニューの名称を「生産計画 - 展開」へ変更
- (2) 原材料マスターへ「逆展開フラグ」フィールドを追加
割付制御フィールドの前に挿入しました。
しばらく設定しないで下さい。
- (3) 「生産計画 - 逆展開」ポップアップメニューの追加
- (4) 「生産計画 - 逆展開 - 逆展開リスト作成...」コマンドの追加
後日、詳細資料を送ります。しばらく、使用しないで下さい。
- (5) 「生産計画 - 逆展開 - 逆展開リスト編集」コマンドの追加
後日、詳細資料を送ります。しばらく、使用しないで下さい。

Ver14.882 Ver15.0 (H16.3.1)

(追加・改良)

- (1) 製造指図総括表の印刷・メタファイル出力、等のダイアログボックスの表示開始日の設定のインターフェースを変更
- (2) 以下のコマンドを追加
「ユーティリティ - その他 - マスター自動生成 - 製造指図総括表マスター自動生成...」
現在選択のガントチャートウィンドウの設備の並び順・表示状態を参考に製造指図総括表マスターに新規レコードを追加します。
コマンドにより、所属設備フィールドのみが設定されます。グループコード、グループ名称フィールド、メタファイル名称フィールド等は、テーブルウィンドウが表示されますので、そちらから設定を行って下さい。
- (3) ヒストグラム印刷・メタファイル出力、等のダイアログボックスへ以下のラジオボタンを追加
「現在選択のグラフの表示状態・並び順を使用」
選択すると現在選択のグラフの表示状態・並び順を使用して、印刷等を行います。
- (4) MRP 作成コマンド実行後、MRP リストを表示させるようにした。
- (5) オーダー作成コマンド実行後、オーダーリストを表示させるようにした。

Ver14.771 Ver14.882 (H16.2.27)

(追加・改良)

- (1) 以下のポップアップメニューの追加
「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - リストテンプレート」
- (2) 「リストテンプレート」ポップアップメニューへ「オーダー別生産指示書」を追加

- 後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (3) 「リストテンプレート」ポップアップメニューへ「ロット別生産指示書」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (4) 「リストテンプレート」ポップアップメニューへ「工程別オーダー単位生産指示書」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (5) 「リストテンプレート」ポップアップメニューへ「工程別ロット単位生産指示書」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (6) 「グラフ - リソース稼働率グラフ」コマンドを追加
リソース稼働率グラフを表示（ワークセンタ、ワークセンタグループ、リソース、個別管理リソース）します。
- (7) 「スケジュール - レポート（標準） - リソース稼働率グラフ」コマンドを追加
リソース稼働率グラフを印刷（ワークセンタ、ワークセンタグループ、リソース、個別管理リソース）します。
- (8) 以下のコマンドを追加
「スケジュール - レポート（カスタマイズ） - メタファイル - リソース稼働率グラフ」
リソース稼働率グラフ（ワークセンタ、ワークセンタグループ、リソース、個別管理リソース）のメタファイルを作成します。
- (9) 以下のコマンドを追加
「スケジュール - レポート（カスタマイズ） - データファイル - リソース稼働率グラフ」
リソース稼働率グラフ（ワークセンタ、ワークセンタグループ、リソース、個別管理リソース）のデータファイルを作成します。
- (10) 以下のコマンドを追加
「スケジュール - レポート（カスタマイズ） - メタテンプレート - リソース稼働率グラフ」
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (11) 以下のコマンドを追加
「スケジュール - レポート（カスタマイズ） - データテンプレート - リソース稼働率グラフ」
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。

Ver14.740 Ver14.771 (H16.2.23)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンドの引数（日時）等で指定できる日時指定文字を追加
引数（日時）へ以下を使用することが可能となります。
- | | |
|---------|----------------------|
| CWeek | 今週（の日曜日） |
| CPeriod | 今旬 1（1日 or11日 or21日） |
| CHalf | 今旬 2（1日 or16日） |
| CMonth | 今月（の1日） |
- (2) 「生産計画 - シリーズ - オーダー表示シリーズ抽出...」コマンドを追加
オーダーリストで表示されているオーダーのシリーズを抽出します。
- (3) 「生産計画 - ロット - オーダー表示ロット抽出...」コマンドを追加
オーダーリストで表示されているオーダーのロットを抽出します。
- (4) マクロコマンド「SERIES_ORDER_PRINT_SAMPLING」を追加
書式：SERIES_ORDER_PRINT_SAMPLING

- 「生産計画 - シリーズ - オーダー表示シリーズ抽出...」コマンドを実行します。
- (5) マクロコマンド「LOT_ORDER_PRINT_SAMPLING」を追加
書式：LOT_ORDER_PRINT_SAMPLING
「生産計画 - ロット - オーダー表示ロット抽出...」コマンドを実行します。
- (6) 以下のポップアップメニューの追加
「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタテンプレート」
- (7) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「製造指図総括表...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (8) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「ヒストグラム...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (9) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「オーダーガントチャート...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (10) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「製品ガントチャート...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (11) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「個別管理リソースガントチャート...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (12) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「設備稼働率グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (13) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「生産量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (14) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「生産量累計グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (15) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「消費量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (16) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「消費量累計グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (17) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「在庫量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (18) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「待ち時間グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (19) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「納期遅れグラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (20) 「メタテンプレート」ポップアップメニューへ「リードタイムグラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (21) 以下のポップアップメニューの追加
「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データテンプレート」
- (22) 「データテンプレート」ポップアップメニューへ「設備稼働率グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (23) 「データテンプレート」ポップアップメニューへ「生産量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (24) 「データテンプレート」ポップアップメニューへ「生産量累計グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。

- (25)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「消費量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (26)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「消費量累計グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (27)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「在庫量グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (28)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「待ち時間グラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (29)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「納期遅れグラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。
- (30)「データテンプレート」ポップアップメニューへ「リードタイムグラフ...」を追加
後日、テンプレート及び詳細資料をお送りします。しばらく、使用しないで下さい。

Ver14.623 Ver14.740 (H16.2.17)

(追加・改良)

- (1) 生産製品数制限マスターへ「制限単位」フィールド(選択)を追加
「所属設備」フィールドの前に挿入しました。
制限単位(「日」、「時間」)を指定できます。
現状は、「日」を選択した状態です。「時間」を選択すると同一時間帯で、
生産製品数制限機能が働きます。
- (2) 以下のコマンドを追加
「スケジューリング-レポート(カスタマイズ)-データファイル-設備稼働率グラフ...」
設備稼働率グラフをデータファイル(テキスト形式)で出力します。
コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。
出力先フォルダ: <PlanWizard インストールフォルダ>¥Excel¥Data
出力ファイル名称: Equip.txt
注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。
- (3) 以下のコマンドを追加
「スケジューリング-レポート(カスタマイズ)-データファイル-生産量グラフ...」
生産量グラフをデータファイル(テキスト形式)で出力します。
コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。
出力先フォルダ: <PlanWizard インストールフォルダ>¥Excel¥Data
出力ファイル名称: PQ.txt
注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。
- (4) 以下のコマンドを追加
「スケジューリング-レポート(カスタマイズ)-データファイル-生産量累計グラフ...」
生産量累計グラフをデータファイル(テキスト形式)で出力します。
コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。
出力先フォルダ: <PlanWizard インストールフォルダ>¥Excel¥Data
出力ファイル名称: PQ_Sum.txt
注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。
- (5) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - 消費量グラフ...」

消費量グラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: CQ.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(6) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - 消費量累計グラフ...」

消費量累計グラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: CQ_Sum.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(7) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - 在庫量グラフ...」

在庫量グラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: Stock.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(8) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - 待ち時間グラフ...」

待ち時間グラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: Wait.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(9) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - 納期遅れグラフ...」

納期遅れグラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: Late.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(10) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - データファイル - リードタイムグラフ...」

リードタイムグラフをデータファイル (テキスト形式) で出力します。

コマンド実行毎にデータファイルは上書きされます。

出力先フォルダ: < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Data

出力ファイル名称: Lead.txt

注意: 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

Ver14.618 Ver14.623 (H16.2.10)

(追加・改良)

- (1) ガントチャート編集メニューへ「編集 - 個別管理リソース再割当」コマンドを追加
選択したロットが使用している個別管理リソースを一旦開放し、再度割当し直します。
ヒント：ガントチャートや個別管理リソースガントチャート等で、バーを移動し、
作業が重なった場合に実行して下さい。できる限り、作業が重ならない
ところを選んでできます。
- (2) 個別管理リソースガントチャート編集メニューへ「個別管理リソース再割当」コマンドを追加
選択しているジョブを一旦開放し、再度割当し直します。
ヒント：ガントチャートや個別管理リソースガントチャート等で、バーを移動し、
作業が重なった場合に実行して下さい。できる限り、作業が重ならない
ところを選んでできます。
- (3) ガントチャートウィンドウのプロパティの「移動」タブへ以下のチェックボタンを追加
「個別管理リソース - 再割当」
チェックするとガントチャートで移動後、「編集 - 個別管理リソース再割当」
コマンドを実行します。
- (4) 「半製品オーダー最遅仕上日設定」及び「納期補正」による半製品オーダーの
最遅仕上日の設定では、半製品側生産パターンの最終工程の接続が「SS」の場合は、
基本的に引当て先製品側ロットの生産終了日を最遅仕上日として設定するようにした。

Ver14.605 Ver14.618 (H16.2.3)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンドの引数(日時)で指定できる日時指定文字を追加
引数(日時)へ以下を使用することが可能となります。
NextDay 翌日
NextWeek 翌週(の日曜日)
NextPeriod 翌旬1(1日 or11日 or21日)
NextHalf 翌旬2(1日 or16日)
NextMonth 翌月(の1日)
- (2) マクロコマンド「EXCEL_FILE_EXE」を追加
書式：EXCEL_FILE_EXE 引数1(Excelファイル名)
Excelを起動して、引数1で指定したファイルを開きます。
注意：実行するには、Excelがインストールされている必要があります。
- (3) マクロコマンド「EXCEL_FILE_EXE_WITH_START_MACRO」を追加
書式：EXCEL_FILE_EXE_WITH_START_MACRO 引数1(Excelファイル名)
Excelを起動して、引数1で指定したファイルを開き、「OpenFromPlanWizard」
マクロを実行します。
注意：実行するには、Excelがインストールされている必要があります。
また、引数1で指定したファイルに「OpenFromPlanWizard」マクロが
必ず用意されている必要があります。
- (4) マクロコマンド「MIN_STOCK_FIELD_RENEW」を追加
書式：MIN_STOCK_FIELD_RENEW 引数1(日時)

- [ユーティリティ] - [その他] - [テーブル] - [時系列最低在庫フィールド更新...]
 コマンドを実行します。
- (5) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下のコマンドを追加
 「ガントチャートソート - 割付順」
 設備の先頭の割付計画が早いものから昇順でソートします。
- (6) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下のコマンドを追加
 「ジャンプ - 個別管理リソースガントチャート」
 個別管理リソースガントチャートへジャンプします。
- (7) ガントチャートウィンドウの編集メニューへ以下のコマンドを追加
 「ジャンプ - 個別管理リソースカレンダー」
 個別管理リソースカレンダーへジャンプします。
- (8) マクロコマンド「DEVELOP_CREATE」を追加
 書式：DEVELOP_CREATE
 「生産計画 - 展開リスト - 展開リスト作成...」コマンドを実行します。
- (9) マクロコマンド「DEVELOP_OPEN」を追加
 書式：DEVELOP_OPEN <省略可：引数1 引数2 引数3 引数4>
 引数1：ウィンドウX座標、引数2：ウィンドウY座標、引数3：幅、引数4：高さ
 「生産計画 - 展開リスト - 展開リスト編集」コマンドを実行します。
- (10) COM 機能「IPlanWzd」へ以下のメソッドを追加
 ・GetDevelopTable *INo*
INo{0(M) , 1(S1) , 2(S2) , 3(S3)}で指定した展開リストを取得します。
 PlanWizard.tlb ファイルを添付します。

Ver14.577 Ver14.605 (H16.1.28)

(追加・改良)

- (1) 備考データ設定ダイアログボックスで対象レコードを選択できるように
 ラジオボタンを追加した。
- (2) 【重要】「PRODUCT_MEMO_DATA_SET」マクロコマンドの書式変更
 書式：PRODUCT_MEMO_DATA_SET 引数1 引数2 引数3 "引数4"
 引数1：対象リスト（「0」：オーダーリスト、「1」：シリーズリスト、「2」：ロットリスト）
 引数2：対象備考（「0」：備考1、～、「4」：備考5）
 引数3：対象レコード（「0」：全レコード、「1」：抽出レコード）
 引数4：設定データ（必ず引数4は、ダブルコーテーション"で囲んで下さい。）
 ガントチャートの各種特殊文字が使用できます。
- (3) ガントチャート特殊文字へ「%SZQD」
 シリーズの日毎生産数量（計画）を表示します。
 ヒント：ガントチャートへの表示よりも、備考データ設定ダイアログボックスの
 設定により、備考へ書込みを行い、その値を外部インターフェース機能で
 外部へ出力することを目的にしています。
 ガントチャートで表示される日毎生産数量を外部へ出力することが可能に
 なりました。（備考データ設定&外部IF）
- (4) ガントチャートの編集メニューの「設備非表示」コマンドを1つ上の階層へ移動

- (5) ガントチャートの編集メニューへ「未割付設備非表示」コマンドを追加
割付がある設備は表示にし、未割付設備を非表示に設定します。
- (6) マクロコマンドの引数が「日時」のところは、時間プラス処理が可能となりました。
マクロコマンド「Schedule 引数1 引数2(日時)」を例に使用方法を以下に示します。
日時に続けて「+TimeSpan(iDay,iHour,iMinute,iSec)」の書式で行います。
iDay：日数、iHour：時間(0~23) iMinute：分(0~59) iSec：秒(0~59)
スペースは、一切入れないで下さい。
例1：「Schedule 1 Cdate+TimeSpan(0,8,45,15)」
例1では、引数2に「今日の日付の8時45分15秒」を指定したこととなります。
例2：「Schedule 1 Cdate+TimeSpan(3,8,40,0)」
例2では、引数2に「今日の日付の3日後の8時40分」を指定したこととなります。
例3：「Schedule 1 2003/11/1+TimeSpan(1,0,0,0)」
例3では、引数2に「2003/11/2」を指定したこととなります。
- (7) スケジューリング画面のダイアログの「割付開始日時」にマクロコマンドと同様の設定(「Cdate+TimeSpan(0,8,45,15)」等)が可能となった。
勿論、ルールとして登録(保存)可能です。

Ver14.468 Ver14.577 (H16.1.21)

(追加・改良)

- (1) 「スケジューリング - レポート(標準) - グラフ」ポップメニューの削除
上記ポップアップメニューの中に存在したコマンドは、
「スケジューリング - レポート(標準)」ポップアップメニューの下に移動しました。
- (2) 「スケジューリング - レポート(カスタマイズ) - メタファイル - グラフ」ポップメニューの削除
上記ポップアップメニューの中に存在したコマンドは、
「スケジューリング - レポート(カスタマイズ) - メタファイル」ポップアップ
メニューの下に移動しました。
- (3) 「製造指図総括表の印刷」等の印刷系ダイアログボックスへ「プリンタの設定...」
ボタンを追加(各種グラフ、テーブルの印刷等で、全15種)
- (4) 「ファイル - プリンタの設定...」メニューの削除。
この処理は、各種印刷系ダイアログボックスから行って下さい。
- (5) 設備マスターの定期切替フラグ選択肢の変更
現状：「空白」, 「する」
新規：「空白」, 「する1」, 「する2」
今までの「する」は、「する1」となり、「する」に設定していたところは、
新バージョンで立ち上げ時、「する1」に自動的にセットされます。
新規の「する2」を選択した場合は、定期切替を「同一中間体グループ」単位で
計算し、発生させます。(現状は、同一中間体単位です。)
- (6) 「生産計画 - 展開リスト」ポップアップメニューの追加
- (7) 「生産計画 - 展開リスト - 展開リスト作成...」コマンドの追加
後日詳細資料をお送り致します。それまでは使用しないで下さい。

- (8) 「生産計画 - 展開リスト - 展開リスト編集」コマンドの追加
後日詳細資料をお送り致します。それまでは使用しないで下さい。

Ver14.448 Ver14.468 (H16.1.16)

(追加・改良)

(1) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 設備稼働率グラフ...」

ヒストグラムをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Equip.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(2) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 生産量グラフ...」

生産量グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：PQ.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(3) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 生産量累計グラフ...」

生産量累計グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：PQ_Sum.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(4) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 消費量グラフ...」

消費量グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称： CQ.wmf

ヒント： Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意： 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(5) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 消費量累計グラフ...」

消費量累計グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称： CQ_Sum.wmf

ヒント： Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意： 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(6) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 在庫量グラフ...」

在庫量グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称： Stock.wmf

ヒント： Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意： 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(7) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 待ち時間グラフ...」

待ち時間グラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： < PlanWizard インストールフォルダ > ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称： Wait.wmf

ヒント： Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力した
メタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意： 実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(8) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 納期遅れグラフ...」

納期遅れグラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ：<PlanWizard インストールフォルダ>¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Late.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(9) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - リードタイムグラフ...」

リードタイムグラフをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ：<PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Lead.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

Ver14.348 Ver14.448 (H16.1.8)

(追加・改良)

(1) 「出荷計画 - 受注情報 - 受注情報削除...」コマンドで表示されるダイアログで受注情報を選択するリストボックスの表示に「製品名称」と「納期」を追加した。

(2) 以下のポップアップメニューの追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル」

(3) 製造指図総括表出力設定マスターへ「メタファイル名称」フィールド (文字型) を追加所属設備フィールドの前に挿入しました。

(4) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - 製造指図総括表...」

製造指図総括表をメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ：<PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：メタファイル名称.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(5) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - ヒストグラム...」

ヒストグラムをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： <PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Histgram.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(6) 以下のポップアップメニューの追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ」

(7) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - オーダーガントチャート」

オーダーガントチャートをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： <PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：OrderGant.wmf or オーダー名称.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(8) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 製品ガントチャート」

製品ガントチャートをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： <PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Product.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。

注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

(9) 以下のコマンドを追加

「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - メタファイル - グラフ - 個別管理リソースガントチャート」

個別管理リソースガントチャートをメタファイルで出力します。

コマンド実行毎にメタファイルは上書きされます。

出力先フォルダ： <PlanWizard インストールフォルダ> ¥Excel¥Meta

出力ファイル名称：Personal.wmf

ヒント：Excel や Word 等の「挿入 - 図 - ファイルから...」コマンド等で出力したメタファイルを取込むことが可能です。

Excel や Word 等でヘッダー等を自由に変更可能です。

後日、Excel のテンプレートファイルを送付致します。
注意：実行には、外部インターフェースカスタマイズ機能オプションが必要です。

Ver14.237 Ver14.348 (H15.12.24)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - データシート - データシート起動...」コマンドの追加
データシートを起動します。
後日、データシートをお送りするまで使用しないで下さい。
コマンドの実行には、コンピュータに Excel97 以上がインストールされていることが前提となります。
- (2) マクロコマンド「DSHEET_EXE」を追加
書式：DSHEET_EXE 引数1 引数2
引数1 (起動前データシートマスター転送 「0」行わない 「1」行う)
引数2 (起動後にデータシートで"File 入力" 「0」行わない 「1」行う)
「ユーティリティ - データシート - データシート起動...」コマンドを実行します。
後日、データシートをお送りするまで使用しないで下さい。
- (3) 「スケジューリング - レポート」ポップアップメニューを以下の名称に変更
変更後 「スケジューリング - レポート (標準)」
- (4) 「スケジューリング - レポート (カスタマイズ)」ポップアップメニューの追加
- (5) 「スケジューリング - レポート (カスタマイズ) - レポートの登録...」コマンドの追加
後日詳細資料をお送り致しますので、それまでは使用しないで下さい。
この機能を使用するには、外部インターフェースカスタマイズオプションが必要です。
- (6) マクロコマンド「CUSTOMIZE_REPORT_EXE」を追加
書式：CUSTOMIZE_REPORT_EXE 引数1 (0,1,2,...)
「スケジューリング - レポート (カスタマイズ)」に登録されているコマンド (上から 0,1,2,...) を実行します。
後日詳細資料をお送り致しますので、それまでは使用しないで下さい。
- (7) 「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - コメントデータ削除...」コマンドの追加
選択したシミュレーションのコメントデータを削除します。
- (8) マクロコマンド「COMMENT_DELETE」を追加
書式：COMMENT_DELETE
「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - コメントデータ削除...」コマンドを実行します。

Ver14.234 Ver14.237 (H15.12.18)

(追加・改良)

- (1) 「生産計画 - 備考データ設定...」コマンドの追加
ダイアログで指定したリスト (オーダー、シリーズ、ロット) の備考 (1~5) へダイアログで設定したデータ (ガントチャート特殊文字) により、データをセットします。特殊文字により、様々なデータを備考へセットできます。
- (2) マクロコマンド「PRODUCT_MEMO_DATA_SET」を追加
書式：PRODUCT_MEMO_DATA_SET 引数1 引数2 "引数3"

- 引数 1 : 対象リスト (「0」: オーダーリスト、「1」: シリーズリスト、「2」: ロットリスト)
引数 2 : 対象備考 (「0」: 備考 1、~、「4」: 備考 5)
引数 3 : 設定データ (必ず引数 3 は、ダブルコーテーション「"」で囲んで下さい。)
 ガントチャートの各種特殊文字が使用できます。

Ver14.227 Ver14.234 (H15.12.12)

(追加・改良)

(1) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - 原材料マスター削除」
指定した原材料に関連するマスターを全て削除します。

(2) マクロコマンド「MASTER_MATERIAL_DELETE」を追加

書式: MASTER_MATERIAL_DELETE 引数 1

引数 1 : レコード番号 or " - 9999"

" - 9999"を指定した場合は、表示されている全レコードが対象となります。

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - 原材料マスター削除」
コマンドを実行します。

(3) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー (連続実行) ...」
一連のプロパティコピーを連続実行します。

(4) マクロコマンド「PROPERTY_COPY_SEQUENCE」を追加

書式: PROPERTY_COPY_SEQUENCE

「ユーティリティ - その他 - プロパティコピー - プロパティコピー (連続実行) ...」
コマンドを実行します。

Ver14.218 Ver14.227 (H15.12.8)

(追加・改良)

(1) ガントチャートへ「情報表示 - 半製品情報表示...」コマンドを追加

選択したロットの半製品情報を表示します。

(2) コマンド「マスター削除...」の名称を「製品・中間体マスター削除...」に変更

(3) 「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除」ポップアップメニューの追加

「製品・中間体マスター削除...」を移動しました。

(4) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - 設備マスター削除」
指定した設備に関連するマスターを全て削除します。

(5) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - ワークセンタマスター削除」
指定した設備に関連するマスターを全て削除します。

(6) 以下のコマンドを追加

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - リソースマスター削除」
指定したリソースに関連するマスターを全て削除します。

(7) マクロコマンド「MASTER_EQUIP_DELETE」を追加

書式: MASTER_EQUIP_DELETE 引数 1

引数 1：レコード番号 or " - 9999"

" - 9999"を指定した場合は、表示されている全レコードが対象となります。

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - 設備マスター削除」
コマンドを実行します。

(8) マクロコマンド「MASTER_WORK_DELETE」を追加

書式：MASTER_WORK_DELETE 引数 1

引数 1：レコード番号 or " - 9999"

" - 9999"を指定した場合は、表示されている全レコードが対象となります。

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - ワークセンタマスター削除」
コマンドを実行します。

(9) マクロコマンド「MASTER_RESOURCE_DELETE」を追加

書式：MASTER_RESOURCE_DELETE 引数 1

引数 1：レコード番号 or " - 9999"

" - 9999"を指定した場合は、表示されている全レコードが対象となります。

「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - ワークセンタマスター削除」
コマンドを実行します。

Ver14.204 Ver14.218 (H15.12.1)

(追加・改良)

(1) 「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫リスト」ポップアップメニュー追加

「製品在庫リスト更新...」コマンド等を移動しました。

(2) 「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト」ポップアップメニュー追加

「製品在庫引当てリスト編集」コマンド等を移動しました。

(3) 以下のコマンドを追加

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 確定ステータスの設定...」

製品在庫引当てリストのステータスを「確定」に設定します。

(4) 以下のコマンドを追加

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 引当てステータスの設定...」

製品在庫引当てリストのステータスを「引当て」に設定します。

(5) 以下のコマンドを追加

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 期間確定...」

製品在庫引当てリストのステータスを期間設定により「確定」に設定します。

(6) 以下のコマンドを追加

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 期間未確定...」

製品在庫引当てリストのステータスを期間設定により「未確定」に設定します。

(7) マクロコマンド「PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DECISION」を追加

書式：PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DECISION

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 確定ステータスの設定...」

コマンドを実行します。

(8) マクロコマンド「PSTOCK_ASSIGN_STATUS_ASSIGN」を追加

「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 引当てステータスの設定...」

コマンドを実行します。

- (9) マクロコマンド「PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DUR_DECISION」を追加
書式:PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DECISION <省略可:引数1 <省略可:引数2>>
引数1:日時 引数2:(「0」:全レコード、「1」:抽出レコード)
「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 期間未確定...」
コマンドを実行します。
- (10) マクロコマンド「PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DUR_NOT_DECISION」を追加
書式:PSTOCK_ASSIGN_STATUS_DUR_NOT_DECISION <省略可:引数1 <省略可:引数2>>
引数1:日時 引数2:(「0」:全レコード、「1」:抽出レコード)
「出荷計画 - 製品在庫 - 製品在庫引当てリスト - 期間未確定...」
コマンドを実行します。

Ver14.100 Ver14.204 (H15.11.25)

(追加・改良)

- (1) オーダー種別マスターへ「製造効率」フィールド(小数)を追加
優先順位フィールドの前に挿入しました。
後日、詳細資料をお送り致します。しばらく設定しないで下さい。
- (2) オーダー種別マスターへ「製造効率(特殊)」フィールド(テーブル)を追加
優先順位フィールドの前に挿入しました。
後日、詳細資料をお送り致します。しばらく設定しないで下さい。

Ver14.091 Ver14.100 (H15.11.19)

(追加・改良)

- (1) ガントチャートウィンドウへ「ロット分割(時間)...」コマンドを追加
ロット分割の数量を日時までの生産数量で指定します。
- (2) 「生産計画 - ロット - 不足原材料自動変更...」コマンドの追加
原材料が不足し、代替原材料への変更が可能なものについて原材料変更を行います。
- (3) マクロコマンド「LOT_AUTO_LACK_MATERIAL_CHANGE」を追加
書式: LOT_AUTO_LACK_MATERIAL_CHANG
「生産計画 - ロット - 不足原材料自動変更...」コマンドを実行します。

Ver14.073 Ver14.091 (H15.11.13)

(追加・改良)

- (1) オーダーリストで直接入力した場合でも、プロパティコピーを実施するようにした。
- (2) 受注情報リストで直接入力した場合でも、プロパティコピーを実施するようにした。
- (3) 以下のマクロコマンドを追加
「ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_ALL_CLEAR_WITH_CHAR」
書式: ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_ALL_CLEAR_WITH_CHAR
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されている抽出条件を全てクリア
します。このマクロコマンドが実行されると、全てのフィールドでテーブルの抽出
条件の抽出タイプが「無」に設定され、抽出条件の抽出文字はクリアされます。
- (4) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_DELETE」を追加
書式: ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_DELETE

- 現在アクティブなテーブルウィンドウで表示されているレコードを削除します。
ただし、他でリンクされている場合等は、削除できません。
注意：使用する場合は、PlanWizard の構造を十分理解してご使用下さい。
- (5) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_NOT_PRINT_RECORD_DELETE」を追加
書式：ACTIVE_TABLE_NOT_PRINT_RECORD_DELETE
現在アクティブなテーブルウィンドウで表示されていないレコードを削除します。
ただし、他でリンクされている場合等は、削除できません。
注意：使用する場合は、PlanWizard の構造を十分理解してご使用下さい。
- (6) 「ユーティリティ - その他 - テンプレート」ポップアップメニューの作成
「受注情報取込ファイル...」の作成コマンド等をここへ移動しました。
- (7) 「マスター自動生成...」コマンドの名称を「製品・中間体マスター自動生成...」に変更
- (8) 「ユーティリティ - その他 - マスター自動生成」ポップアップメニューの作成
「製品・中間体マスター自動生成...」コマンド等をここへ移動しました。
- (9) 「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込」ポップアップメニューの作成
「マスター削除...」コマンド等をここへ移動しました。
- (10) 「ユーティリティ - その他 - テーブル」ポップアップメニューの作成
「全テーブルのセルのフォントをデフォルトフォントに設定...」コマンド等をここへ移動しました。
- (11) 以下のマクロコマンドを追加
「ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_REVERSE」
書式：ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_REVERSE
現在アクティブなテーブルウィンドウのレコードの表示・非表示を反転させます。
ヒント：抽出マクロコマンド等で、「含」等を指定した後で、このコマンドを連続実行させると、結果的に「含まない」ものを抽出させることができます。
- (12) 以下のコマンド名称の変更
変更前：「ヘルプ - トピックの検索」
変更後：「ヘルプ - ヘルプ」

Ver14.065 Ver14.073 (H15.11.7)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「RECEIVE_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。
- (2) マクロコマンド「PSTOCK_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。
- (3) マクロコマンド「MAT_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。
- (4) マクロコマンド「ORDER_SELECT_DEVIED」の名称を変更
「ORDER_SELECT_DIVIDE」に変更しました。
- (5) マクロコマンド「ORDER_SELECT_DIVIDE」の引数 1 の処理の拡張

- 引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコード、且つ、分割可能なオーダーに対して処理を実行します。
- (6) マクロコマンド「ORDER_SERIES_RECREATE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。
- (7) マクロコマンド「MASTER_PRODUCT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。

Ver14.027 Ver14.065 (H15.10.28)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_SAMPLING」を追加
書式 : ACTIVE_TABLE_SAMPLING 引数 1(0,1) 引数 2(0,1)
引数 1 : 「0」で AND 抽出、「1」で OR 抽出
引数 2 : 「0」で全データ対象、「1」で表示レコードを対象
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されている抽出条件で、
抽出処理を実行します。事前に各種マクロコマンドにより、抽出処理を行いたい
テーブルウィンドウをアクティブにしてください。
また、抽出条件は、予め、以下の (2) ~ (4) のマクロコマンド等を使用して
設定して下さい。
- (2) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_ALL_CLEAR」を追加
書式 : ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_ALL_CLEAR
現在アクティブなテーブルウィンドウで設定されている抽出条件をクリアします。
このマクロコマンドが実行されると、テーブルの抽出条件の抽出タイプが全ての
フィールドで「無」に設定されます。
ただし、抽出条件の抽出文字は、クリアされません。(そのまま残ります。)
- (3) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_SET」を追加
書式 : ACTIVE_TABLE_SAMPLING_CON_SET 引数 1 引数 2 引数 3(0~4)
引数 1 : 抽出条件を設定するフィールド
型情報付きフィールド名称でフィールドを指定して下さい
引数 2 : 抽出条件の抽出文字
引数 3 : 抽出条件の抽出タイプ
(「0」: 等、「1」: 始、「2」: 終、「3」: 含、「4」: 無)
- (4) マクロコマンド「ACTIVE_TABLE_RECORD_ALL_PRINT」を追加
書式 : ACTIVE_TABLE_RECORD_ALL_PRINT
現在アクティブなテーブルウィンドウのレコードを全て表示します。
- (5) マクロコマンド「ORDER_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている全レコードに対して処理を実行します。
- (6) マクロコマンド「ORDER_H_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている半製品の全レコードに対して処理を実行します。

- (7) マクロコマンド「ORDER_P_SELECT_DELETE」の引数 1 の処理の拡張
引数 1 にレコード番号ではなく、「 - 9999 」を設定した場合、
表示されている製品の全レコードに対して処理を実行します。

Ver14.008 Ver14.027 (H15.10.22)

(追加・改良)

- (1) 下位データ連動のまとめルール「W」, 「L」の場合の起点曜日を
指定できるように改良した。書式例を参考に設定して下さい。
書式例 : 「W(3)」 火曜日起点で週単位のまとめを実行
書式例 : 「L(3/5)」 火曜日、木曜日起点で 1/2 週単位のまとめを実行
括弧内の数字は、1 : 日曜日、2 : 月曜日、3 : 火曜日、...、7 : 土曜日
- (2) MRP 作成のまとめルール「W」, 「L」の場合の起点曜日を
指定できるように改良した。書式例を参考に設定して下さい。
書式例 : 「W(3)」 火曜日起点で週単位のまとめを実行
書式例 : 「L(3/5)」 火曜日、木曜日起点で 1/2 週単位のまとめを実行
括弧内の数字は、1 : 日曜日、2 : 月曜日、3 : 火曜日、...、7 : 土曜日
- (3) オーダー作成のまとめルール「W」, 「L」の場合の起点曜日を
指定できるように改良した。書式例を参考に設定して下さい。
書式例 : 「W(3)」 火曜日起点で週単位のまとめを実行
書式例 : 「L(3/5)」 火曜日、木曜日起点で 1/2 週単位のまとめを実行
括弧内の数字は、1 : 日曜日、2 : 月曜日、3 : 火曜日、...、7 : 土曜日
- (4) 「ユーティリティ - バックアップ」ポップアップメニューの追加
- (5) 「ユーティリティ - バックアップ - 保存...」コマンドの追加
全データをバックアップ領域へ保存します。
バッチファイル(store.bat)と同じフォルダに PlanWizard のデータのみ保存します。
通常の保存領域へは、保存されません。
- (6) 「ユーティリティ - バックアップ - 読込...」コマンドの追加
バックアップ領域のデータを読込みます。
バッチファイル(restore.bat)と同じフォルダから PlanWizard のデータを読込みます。
- (7) マクロコマンド「BACKUP_SAVE」を追加
書式 : BACKUP_SAVE
「ユーティリティ - バックアップ - 保存...」コマンドを実行します。
ただし、スケジューリングルール等は、保存されません。
- (8) マクロコマンド「BACKUP_LOAD」を追加
書式 : BACKUP_LOAD
「ユーティリティ - バックアップ - 読込...」コマンドを実行します。
ただし、スケジューリングルール保存条件は、バックアップデータからの読込は
行いません。
- (9) 保存時にも画面状態、スケジューリング条件も同時に保存するようにした。

Ver14.0 Ver14.008 (H15.10.16)

(追加・改良)

- (1) 同時生産ロジックの改良
現状の同時生産よりも、出来る限り割付優先順位を考慮するようにした。
結果的に現状よりも同時生産の搭載率が向上した。
- (2) 各種ガントチャート左上へカーソルをおいた場合の情報表示へ
現在表示されている結果のスケジューリング時の処理時間の表示を追加した。
- (3) 下位データ連動のまとめルールへ以下を追加
「L」 1/2 週毎（日～水、木～土）にまとめ処理を行います。
「R」 時間毎にまとめ処理を行います。
- (4) MRP 作成のまとめルールへ以下を追加
「L」 1/2 週毎（日～水、木～土）にまとめ処理を行います。
「R」 時間毎にまとめ処理を行います。
- (5) オーダー作成のまとめルールへ以下を追加
「L」 1/2 週毎（日～水、木～土）にまとめ処理を行います。
「R」 時間毎にまとめ処理を行います。
- (6) 下位データ連動の分割時の納期ずらしルールへ以下を追加
「L」 1/2 週毎（日～水、木～土）に納期をずらします。
「R」 時間毎に納期をずらします。
- (7) オーダー作成の分割時の納期ずらしルールへ以下を追加
「L」 1/2 週毎（日～水、木～土）に納期をずらします。
「R」 時間毎に納期をずらします。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)